

2010 (平成22年) から

# コミュニケーション で地域を活性化



## 地域コミュニケーションブック —Ha(姓)・Na(名)・Su(住)— を発行しました。

コミュニケーションブックは、会員相互や地区内の交流を促進させることを目的として、ご近所付き合いに必要な情報、電話番号 (Ha)、名前 (Na)、住所 (Su) や屋号のほか遊覧場所など生活に役立つ情報も掲載しています。

冊子は自治会の皆さん及び、地域づくり協議会員にお配りしております。

地域の皆様との交流促進に、移住された方の地域デビューの道具として活用いただければ幸いです。

Q 掲載の情報量に差があるのはなぜ?

A: 掲載可能な情報を提供いただいたためです。書き足して使ってください。

Q デザインが上手なのはなぜ?

A: どこに置いても目立つ、印象に残るデザインにしてみました。

Q 次回はいつ発行するの?

A: 1年程度で更新する予定です。経費を抑えるため中身だけ差し替えます。

個人情報取扱いにご注意ください。



## コミュニケーション ・ブック発行

地域づくり会議では、会員からの事業提案を受けて事業を実施していますが、最初に寄せられたのは、地区の電話帳を作ってほしいでした。  
村の時代は美麻だけの電話帳がありましたが大町市になって戸数が多くなったため、お年寄りなどは、字が小さくて電話をするのに困っているということでした。

## (平成23年度版)

### コミュニティ・カレンダー に入浴優待券

美麻地域づくり会議では、今年度配布しましたコミュニティ・カレンダーに、ほかほかランド美麻開業20周年を記念した入浴優待券を付けています。

#### 【利用方法】

毎月的美麻市開催時に、カレンダー右下にある優待券を切り取って臨時市 (いち) 役所にお持ちください。

優待券に日付と確認印を押してもらえると、ほかほかランド美麻の入浴1人分が無料になります。



単に電話帳の役割だけではなく、美麻地区に移住してきた人達が地域に溶け込み、近所付き合いがしやすいなる役割も加え、コミュニケーション・ブック (Ha(姓)・Na(名)・Su(住)) として発行しました。

## コミュニティ ・カレンダー発行

平成25年からは、地域づくり活動情報、美麻地区の行事、学校行事を掲載した地域のコミュニティ・カレンダー「コミュニティ・カレンダー」を発行をはじめました。

カレンダーのデザインは、美麻小中学校で実施している美麻市民



科の学習成果発表表を使用するほか、道の駅活性化事業のとして、美麻市の開催案内やほかほかランド美麻の無料入浴券を付けるなど、地域の情報共有や、地域づくり活動への参加意識を高めてもらえるような工夫をしました。



2011 (平成23年) から

# コミュニティ・ スクール誕生!

美麻小中学校が小中一貫校 &  
コミュニティスクール (文部科学省指定校) に



## 平成23年 学社融合プロジェクト

美麻地域づくり会議 × 美麻小  
中学校 × 長野大学の連携による  
学校教育と社会教育の融合による  
地域教育プログラムをつくる事業  
が始まる。

## 平成25年 小中一貫校となる

ひとつの校舎で小学校と中学校  
の学びを行う学校 (小中併設校)  
から、小学校1年生から中学三年  
生までの9年間を一連の教育課程  
とする小中一貫教育になる。



## 平成26年 コミュニティ・スクールに

小中一貫教育校コミュニティ・  
スクールとして新たにスタートし  
た美麻小中学校では、4月4日、

## なぜ必要か?

その第一期生となる1年生9名の  
入学式が行われました。1年生の  
教室では、9年生の生徒が新入生  
のお世話をしたり、手をつないで  
体育館へ入場したりしてくれまし  
た。とっても幸せそうな新1年で  
す。まさに小中一貫教育校にふさ  
わしい温かな入学式となりました。

◆美麻では、学校と地域が一体と  
なり、子どもをより良く育てるた  
めの方向を探ってきました。学社  
融合の関係は一貫校の運営の礎と  
なります。コミュニ  
ティ・スクー  
ルの指定により  
「学校運営協議  
会」を設置する  
ことにて、地域  
と共に「自立し  
た学習者」を育  
成する学校が実  
現します。

## どんな仕組み?



地域と学校の関わり方などを通  
じボランティア研修会などを通  
じて、定期的に共有します。

- ◆ 地域の公立学校の運営に保護者  
や地域の皆さんの声を生かす仕組  
みです。
- ◆ 学校には、保護者や地域の皆さ  
ん、教育委員会、校長等が任命さ  
れる委員による「学校運営協議会」  
が設けられます。
- ◆ 「学校運営協議会」は、学校の  
運営方針を承認したり、各種教育  
活動に意見を述べることでできま  
す。
- ◆ コミュニティ・スクールでは、  
保護者や地域の皆さんが学校づく  
りに参画することが保証され、学  
校と地域が力を合わせ、互いに信  
頼し、それぞれの立場で子どもた  
ちの成長を支えていく学校づくり  
ができることが、今までの学校と  
の最大の違いです。



# 神城断層地震 発生

最大震度6弱(M6.8)  
美麻地区北部を中心に大きな被害

午後10時8分ごろ、県北部を震源とする強い地震があった。長野市戸隠、鬼無里、北安曇郡小谷村中小谷、上水内郡小川村高府で震度6弱、長野市箱清水、豊野町、中条、北安曇郡白馬村北城、上水内郡信濃町柏原で震度5強を観測した。長野地方気象台によると、震源の深さは約10キロ、地震の規模はマグニチュード(M)6.8と推定される。

## 美麻地区の被害

○被災建物

「危 険」 青具6

「要注意」

二重1、青具34

「その他」

大塩1、青具36

○住家の被害状況

「半壊」6

「一部損壊」71

「世帯数」77

「世帯人数」174

○被災者支援に伴う住宅調査

94棟

○被災地宅地危険度判定結果

総数89箇所

「危険」4、「要注意」18、

「その他」67

○避難者の状況

世帯数16世帯避難人数29人

(平成27年1月・最多時)

※ 長野県神城断層地震に対する  
大町市の対応より抜粋引用



神城断層地震  
被災地支援に感謝

北安曇郡信濃町を中心とする神城断層地震  
発生ボランティアで被災したところの被災地  
からも支援を受けています。12月12日  
みでけの被災地支援活動の報告書が  
作成されました。報告書は被災地  
で被災した方へ送付させていただきます。

ボランティアの活動、支援についての記事は、  
大町市社会福祉協議会（担当：藤沢）までお  
問い合わせください。  
被災地へ一口も思いを届けて、被災者  
の心も支えたい活動をしています。



被災地のボランティアの活動が盛況です。  
月ごとの活動が盛況です。ボランティアの  
活動を支援しています。

## 震災復旧支援活動

美麻地区では、大町市社会福祉  
協議会のボランティア活動に

合わせて、11月30日より、

被災者宅で破損した家財やは

がれた土壁などの片付けや清

掃の支援活動がおこなわれし

ました。

## 災復興に向けて

多くの皆様から震災復旧に

向けた支援をいただきました。

被災の影響で休業していたほ

かほかランド美麻では、平成

27年4月には、復興イベン

ト「みんなで頑張ろう美麻」

を開催され、地域の復興に向



神城断層地震では、市内の様々な  
団体から多くの支援をいただき復  
旧・復興が進みました。

## 復興記念イベント開催

8月6日ほかほかラン美麻で、

温泉施設復興完成と宿泊営業再開

などに合わせて、震災復興イベン

トが行われました。当日は市長さ

ん、市会議員や県会議員、元村会

議員、自治会の役員さん等が招か

れ、地域のみなさんにも大勢お越

しいいただき、盛大にセレモニーが

行われました。来賓の祝辞などの

後100mテープカットを100

名の参加者で行いました。



平成26年8月30日

# 美麻夏祭り

祝・市制施行六十周年・合併十年記念事業

市制施行60周年と合併10周年を記念した美麻夏祭りを美麻支所駐車場で美麻ふれあい祭りと合わせて開催しました。  
FM長野の公開収録として、中西圭三さんのライブステーションやラウン・サクさんの大道芸の素晴らしいパフォーマンス、美麻保育園園児の神輿とお遊戯や、美麻小中学校7

年生の神楽囃子、獅子舞の発表など、観客と一体となって盛り上がり、皆さんがこの日の為にと練習した成果が感じられました。  
何より地域の皆さんのお元気な顔が拝見できて話したりできて良かったですね。  
祭りのフィナーレを飾った源流太鼓の見事な演奏と花火の競演は集まった人々たちを魅了する感動的な演出となりました。  
「合併10年」という節目の夏祭りを、90有余のスタッフの皆さんのご協力が無事終える事ができました。

(実行委員長 宮沢雄一)



実行委員全員で修了後に記念撮影

## 合併10周年記念事業

美麻夏まつりに加え、合併10周年を節目に、次代に継続する地域活性化事業を公募・実施しました。

### 大塩地区 区民交流会の開催

大塩富士浅間神社秋の例大祭前夜祭において、市民交流会を開催しました。



### 二重地区

みんなそろって  
法被でハッピー交流事業

子供たちが地域の行事に参加し、大人も一緒に楽しめるようハッピー製作ワークショップを開催。



### 新行地区

北アルプス奉納太鼓とあわせてイベントを開催しました。



### 青具地区

地域の景観形成を図るために果斷整備をしました。



### 千見地区

お囃子・獅子舞復活

20年近く途絶えていたお囃子と獅子舞の復活に取り組みました。







塩島校長と学校運営協議会の北沢会長が12月16日に、牛越市長、荒井教育長に受賞を報告。

# コミュニティ・スクールの活動が 文部科学大臣表彰を受賞

## 文部科学省 コミュニティ・スクール フォーラムで事例発表



### 【長野フォーラム】実践発表1

◇学社融合からコミュニティ・スクールに移行していった流れや、協議体による合意形成の必要性などの説明がありました。美麻地域を活性化し、美麻を愛する子供たちを育てたいという思いが伝わってくる発表でした。

美麻小中学校が平成28年度「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰を受賞しました。この賞は、「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」での教育方針に基づいた地域学校協働活動等のうち、他の模範と認められるものに対して贈られるものです。

本年度はコミュニティ・スクールでは全国27団体（県内1団体）が表彰を受けていますが、地域のみなさんが支える学校として「まさしくコミュニティ・スクールである」と評価されました。